

「令和4年度病害虫発生予報第8号」の発表について

○向こう1か月の主要な病害虫の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・大豆では、吸実性カメムシ類の発生が、四国の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・野菜では、オオタバコガの発生が、関東、東海及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・果樹では、果樹カメムシ類の発生が、近畿及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、ハスモンヨトウ等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので注意してください。

国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、有害動植物の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、有害動植物の発生調査の結果等を分析し、有害動植物の発生予察及び防除対策に係る情報（発生予察情報）を提供しています。本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

国の病害虫発生予察情報及び都道府県病害虫防除所のリンク

参照URL:https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/120104_yoho.html

気象

気象庁の向こう1か月の予報（10月6日付け）では、気温は北・東日本と沖縄・奄美で高いと予想されています。降水量は北日本で平年並か多いと予想されています。

気象庁ホームページ

参照URL:https://www.jma.go.jp/jp/longfest/001_00.html（外部リンク）

大豆

大豆で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
大豆	吸実性カメムシ類	四国	関東、東海、近畿、北九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・吸実性カメムシ類の発生が、四国の一部の地域で多くなると予想されています。本虫類の飛来状況は地域や園地により異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。

野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
いちご	アブラムシ類		北関東、東海、中国
	ハダニ類	北関東、四国	東海、南関東
	炭そ病	東海	南関東、甲信、近畿、中国
キャベツ	黒腐病		甲信、北陸、東海、近畿、中国
きゅうり	コナジラミ類	南関東、近畿、北九州	北関東
トマト	コナジラミ類	東海、近畿	北関東
	灰色かび病		南東北、東海、中国
	葉かび病	南九州	中国
なす	アザミウマ類	南関東	近畿
	うどんこ病	関東	近畿
ねぎ	アザミウマ類	関東	北九州、中国、四国
	黒斑病	北東北	南関東、北陸、中国
作物共通	オオタバコガ	関東、東海、近畿	北陸、中国、四国、九州
	シロイチモジヨトウ	関東、中国	北陸、東海、近畿、四国、北九州
	ハスモンヨトウ	東北、四国	関東、北陸、東海、近畿、中国、北九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

いちご

・ハダニ類の発生が、北関東及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。本虫類は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫類の発生を認めた場合は注意が必要です。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

・炭そ病の発生が、東海の一部の地域で多くなると予想されています。本病は気温が高くなる時期に発生しやすいので、今後の発生状況に注意し、感染株は早期に抜き取り、ほ場外で適切に処分してください。また、菌の胞子のかん水などにより飛散し感染するため、かん水の際には水滴の小さい機材等の利用も検討してください。

きゅうり

・コナジラミ類の発生が、南関東、近畿及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は作物を加害するほか、多くの病原ウイルスを媒介することが知られています。ほ場内の発生状況に注意しつつ、都道府県から発表される発生予察情報等を参考に、発生初期に防除を実施してください。また、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

■ トマト

・コナジラミ類の発生が、東海及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は作物を加害するほか、多くの病原ウイルス病を媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

■ なす

・うどんこ病の発生が、関東の一部の地域で多くなると予想されています。本病は発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、伝染源となるり病部は早期に除去するとともに、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に効果の高い薬剤を選定し、散布むらがないよう的確に散布してください。

■ ねぎ

・アザミウマ類の発生が、関東の一部の地域で多くなると予想されています。また、本虫類は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫類の発生を認めた場合は注意が必要です。本虫類は作物を加害するほか、多くの病原ウイルス病を媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

・黒斑病の発生が、北東北の一部の地域で多くなると予想されています。本病は主に葉身に発生し、多湿条件で発生が助長されます。多発すると防除が困難になるので、ほ場の観察をきめ細かく行うとともに、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に発病初期に防除を実施してください。

■ 作物共通

・オオタバコガの発生が、関東、東海及び近畿の一部の地域で多くなると予想されており、埼玉県から注意報が発表されています。幼虫の成育が進むと薬剤の効果が低下し、また、幼虫が植物体に食入してからでは防除が困難となるため、ふ化してから食入する前の若齢幼虫期が防除適期になります。ほ場の観察をきめ細かく行い、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

・シロイチモジヨトウの発生が、関東及び中国の一部の地域で多くなると予想されており、埼玉県から注意報が発表されています。幼虫の成育が進むと薬剤の効果が低下するので、若齢幼虫期が防除適期になります。ほ場の観察をきめ細かく行い、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

・ハスモンヨトウの発生が、東北及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。幼虫の成育が進むと薬剤の効果が低下するので、若齢幼虫期が防除適期になります。ほ場の観察をきめ細かく行い、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

果樹・茶

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
かき	炭そ病	中国	北陸、東海、近畿、四国
かんきつ	かいよう病	四国	東海、中国
	黒点病		四国、南九州、沖縄
果樹全般	果樹カメムシ類	近畿、四国	北陸、東海、九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

果樹全般

・**果樹カメムシ類**の発生が、近畿及び四国の一部の地域で多くなると予想されており、本年は現時点で25都府県から延べ27件の注意報が発表されています。今後、当年世代（越冬世代以降の世代）を中心に、餌を求めて園地を移動するようになります。本年の越冬世代の発生が多かった地域では当年世代の発生量に注意が必要です。本虫類の飛来状況は地域や園地により異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。

かき

・**炭そ病**の発生が、中国の一部の地域で多くなると予想されており、鳥取県から注意報が発表されています。本病は多湿条件下で発生が助長され、特に秋期に降雨が多いと多発しやすくなります。秋期の発病果は落果せずに樹上に残り、他の果実への伝染源となるため、園内の観察をきめ細かく行い、り病果は早期に除去するとともに、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に薬剤散布を実施してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和4年9月8日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

警報

発表はありません。

注) 重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

注意報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
9月8日	岐阜県	水稻	トビイロウンカ
9月8日	岐阜県	トマト	トマト灰色かび病
9月8日	埼玉県	野菜類、花き類、大豆	オオタバコガ
9月12日	鹿児島県	果樹全般	果樹カメムシ類
9月15日	鳥取県	ブロッコリー	ブロッコリー黒すす病
9月21日	岡山県	水稻	トビイロウンカ
9月22日	埼玉県	ねぎ、ブロッコリー	シロイチモジヨトウ
9月29日	鳥取県	かき	カキ炭疽病

注) 警報を発表するほどではありませんが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

特殊報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
9月16日	長崎県	ねぎ	ネギハモグリバエB系統
9月21日	岡山県	ねぎ	ネギハモグリバエB系統
9月21日	兵庫県	トマト、なす、オクラ、きく	クロテンコナカイガラムシ
9月21日	島根県	メロン	メロン炭腐病
9月22日	佐賀県	トマト	トマト立枯病
9月27日	広島県	ねぎ	ネギハモグリバエB系統
9月27日	徳島県	オクラ	フタテンミドリヒメヨコバイ
10月3日	岐阜県	ブロッコリー	トビイロシワアリ
10月5日	青森県	トルコギキョウ	トルコギキョウ斑点病
10月11日	滋賀県	トマト、なす、ピーマン	クロテンコナカイガラムシ

注)各都道府県において、新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発生消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

病害虫の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

用語解説

(地域)

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信：山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

(発生量(程度))

多い(高い)：やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い(やや高い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅

やや少ない(やや低い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

少ない(低い)：やや少ないの外側10%の度数の入る幅

(平年値は過去10年間の平均)

(参考) 今後の発表予定日
第9号:11月9日(水曜日)
第10号:令和5年3月8日(水曜日)

(参考) これまでの発表
第1号:4月13日(水曜日)
第2号:5月11日(水曜日)
第3号:6月8日(水曜日)
第4号:7月6日(水曜日)
第5号:7月20日(水曜日)
第6号:8月10日(水曜日)
第7号:9月7日(水曜日)

【お問合せ先】

消費・安全局植物防疫課

担当者:岡田、麻野、中村、吉田

代表:03-3502-8111 (内線4562)

ダイヤルイン:03-3502-3382